

2004年度事業報告書

特定非営利活動法人 NPO高知市民会議

1 事業の成果

2004年度は、NPO 高知市民会議の受託事業の一つを他の NPO へ繋ぐことができました。また、ボランティア・NPO 活動への理解を深め、参加する人を増やし繋ぐ事業を実施しました。その他、企業、行政等と NPO との連携・協働を図るために、各セクター向けの事業を実施すると共に、一方で、NPO の基礎力を高めるための講座等を実施しました。このように、中間支援組織として、直接・間接的に NPO の活動の場を広げ、深める役割を充実させることができました。この年に特に顕著に現れてきた成果として、子どもたちへの情報紙「わいわいくじら」や、サポートセンター便りが、子どもたちや市民活動への有効な情報源として確立されたことです。今後はこのような広報媒体と事業を NPO がより活用できるものとして力を入れていきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
1. サポートセンターだより	サポートセンターだより「えぬびい Oh!」 年12回、毎月上旬発行 助成金情報・各 NPO からの情報を掲載	毎月上旬	高知市市民活動サポートセンター	3人	発行部数：400部	1,103
	「えぬびい Oh!」年4回発行 企画・編集・発送作業 NPO高知市民会議の受託事業など主催した事業の広報・告知・報告の他、企業の社会貢献活動の事例や各団体の活動など紹介	【第20号】 2004年7月 【第21号】 2004年10月 【第22号】 2005年1月 【第23号】 2005年3月		7人	対象： 全会員、 他支援センター、 一般市民 発行部数 1000部	
2. まちづくりトークCafe	ゆるやかな市民との連携を深めることを目的に、高知のまちづくりについて、トーク風 に市民が自由にテーマに沿って語り、話し合う場を提供。毎月1回開催。 【第1回】テーマ「福祉住環境」 【第2回】テーマ「福祉機器展から見たもの」 【第3回】テーマ「ホームページはどこまで来たか」 【第4回】テーマ「NPOの未来を語ろう!」 【第5回】テーマ「微笑みの国タイを訪れて」 【第6回】テーマ「ボーターガーデン①」 【第7回】テーマ「私の人生を変えた本 ～人生変えちゃう秋かもね^v^～」 【第8回】テーマ「野外で実践ボーターガーデン②」 【第9回】テーマ「まちづくりトークBar」 【第10回】テーマ「まちのアート①」 【第11回】テーマ「まちのアート②」	【第1回】 2004年4月21日(水) 【第2回】 5月24日(月) 【第3回】 6月23日(水) 【第4回】 7月26日(月) 【第5回】 8月27日(金) 【第6回】 9月25日(土) 【第7回】 10月29日(金) 【第8回】 11月7日(日) 【第9回】 12月11日(土) 【第10回】 2005年1月26日(水) 【第11回】 2月23日(水)	高知市市民活動サポートセンター他	3人	対象： 一般市民 参加人数 【第1回】 7人 【第2回】 3人 【第3回】 11人 【第4回】 8人 【第5回】 6人 【第6回】 9人 【第7回】 5人 【第8回】 13人 【第9回】 8人 【第10回】 7人 【第11回】 5人	45

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
3. 公共交通部会	<p>* NPO 高知市民会議自主事業 2001年度の「まちづくりCafe」参加者から生まれた高知の公共交通についてを考えることを目的とした部会。2004年度は「路面電車利用促進プロジェクト」会議にて提言。また、公共交通の現状と課題を部会で討議する。市民の意見を反映した「くじらぼっくす」の運営委員会ではお泊りとして毎月参加。イベントやパネル展示等で広報活動を行う。</p>		高知市市民活動センター			82
	【ぐるりんバス&路面電車 まちのお宝発掘ラリー】	2004年 7月24日(土) 10時～16時	集合・解散：高知市市民活動センター	部会メンバー 15人	対象：一般市民 100人	
	【第7回全国路面電車サミット in 高知イベント『電車で探検! の こうち なんこく』】 ◇フォローアップ アンケート	2004年 10月16日(土) 10時～14時 ◇2005年 2月9日(水) ～16日(水)	集合・解散：土佐電道(株)	部会メンバー 10人	対象：一般市民 140人	
	【第7回全国路面電車サミット in 高知】 〈事例紹介〉「NPO 高知市民会議の動き」 NPO 高知市民会議 公共交通部会 土居貴之氏	2004年 10月23日(土) 12時半～17時半	かるぽーと	部会メンバー 11名	全国の路面電車関係者及び一般市民	
	【アースデイズ・ピクニック 出展】 ・パネル展示、公共交通に関する説明や公共交通を使いやすくするためのアイデア募集	2004年 4月25日(日) 10時～16時	高知市内丸の緑地	部会メンバー 6人	対象：一般市民	
	【土佐電鉄電車開通100周年記念企画 路面電車展】 ・パネル展示	2004年 8月20日(金) ～9月2日(休)	高知市自由民権記念館		対象：一般市民	
	【第6回よさこいエコ祭り出展】 ・くじらぼっくすの説明及びパネル展示	2005年 3月12日(土) 10時～17時 ～13日(日) 10時～16時	高知中央公園	部会メンバー 10人	対象：一般市民	
4. 企業市民セミナー	<p>企業にとって魅力的且つ効果的な社会貢献活動の促進を図るため、講演や事例紹介を通し学習する場を提供 共催：高知県ボランティア・NPOセンター 2004年度テーマ 「企業とNPOのパートナーシップを考える」</p> <p>【第13回】 ◆情報提供 「中部リサイクル的企業とのつきあい方」 〈提供者〉 NPO法人中部リサイクル運動市民の会 代表理事 萩原喜之氏</p> <p>◆事例報告 〈報告者〉 NPO法人ワークスみらい高知 代表 竹村利道氏 NPO法人土佐の森・救援隊 理事長 橋詰寿男氏</p> <p>◆企業とNPO意見交換会 〈進行〉高知大学人文学部 教授 上田健作氏</p>	【第13回】 2004年 11月28日(日) 9時半～15時	高知県立ふくし交流(こうちNPOフォーラム2004の分科会4で実施)	4人	対象：企業の社会貢献担当者 19人	452

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者及び人数	支出額(千円)
	<p>【第14回】 ◆情報提供 「住友生命の社会貢献活動とNPOとの協働」 〈提供者〉「住友生命保険相互会社」 調査広報部 次長 井上小太郎氏</p> <p>◆事例報告 〈報告者〉 NPO法人ごめん・なはり線を支援する会 事務局 浜口勝洋氏 社会福祉法人すずめ福祉会すずめ共同作業所 所長 西村昇氏</p> <p>◆企業とNPO意見交換会 〈進行〉NPO高知市民会議理事 山崎一寛氏</p>	<p>【第14回】 2005年 3月9日(水) 13時半～ 16時半</p>	高知共済会館	4人	<p>対象：企業の社会貢献担当者 25人</p>	
5. とうちNPOフォーラム2004	<p>「とうちNPOフォーラム2004 住民力で高知を拓く ～新たなステージを担うNPOの挑戦～」</p> <p>特定非営利活動促進法が施行されて丸6年。行政や企業に続く第3のセクターとして社会的役割を期待され、着実に社会に定着しつつあるNPOセクターだが、三位一体改革や市町村合併・行政のアウトソーシングの動きなどNPOをとりまく環境も大きく変化しつつある。そうした対応も踏まえてこのフォーラムではNPO自身の組織課題や活動の課題の解決への知恵を出し合い団体相互の交流を深めることを目的に毎年1998年12月の施行日に近いこの時期に実施。住民力を活かした新たなステージを担うNPOの可能性を考える。</p> <p>又、第13回企業市民セミナーを分科会と位置づけ開催。</p> <p>11月27日 【講演】「住民主体のまちづくり ～三鷹市の実践より～」 (講師)：正満たつる子氏 (三鷹市市民協働センター企画運営委員会/ 副委員長・ファーストステップみたか/共同代表)</p> <p>【フリック・ディスカッション】 テーマ：「住民力を活かすNPOの可能性」 〈出演者〉 ばせりの会 岩本理香氏 NPO法人エコネットなんごく 事務局 横田日出子氏 NPO法人中部リサイクル運動市民の会 代表理事 萩原喜之氏 NPO法人新田村づくり運営委員会 理事 岡田光弘氏 NPO法人NPO高知市民会議 理事 伊藤一統氏 〈コメンテーター〉 三鷹市市民協働センター企画運営委員会 副委員長 正満たつる子氏 〈進行〉 とうちNPOフォーラム2004実行委員会 委員長 八木雅昭氏</p>	<p>【1日目】 2004年 11月27日(土) 13時～ 16時40分</p> <p>〈交流会〉 18時半～ 20時半</p>	<p>県立ふくし交流プラザ 〈交流会〉 高知共済会館</p>	26人	<p>対象：NPO活動関係者、活動に関心のある市民 参加者：計164人 【11/27】94人 *交流会45人 【11/28】111人</p>	450

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
	11月28日 【分科会】 I)「思いから始まる組織運営 ～NPOのマネジメントを考える～」 II)「組織を活かすための資金獲得方法を考える ～ミッションの実現に向けた資金源とは～」 III)「行政との協働のあり方とは ～新しい公共の担い手としてのNPOの役割～」 IV)「企業とNPOのパートナーシップを考える ～企業の社会的価値を高める～」 V)「住民力を活かすコミュニティ組織とは ～市町村合併とまちづくり～」	【2日目】 2004年 11月28日(日) 9時半～15時	県立ふくし交流プラザ		【分科会】 I)15人 II)16人 III)30人 IV)23人 V)27人	
6. まちづくり市民連続講座	まちの魅力を探検・発見・ほっとけん！ “まち歩き”による、まちづくりの考え方や手法を知り、まちの宝物をどのように生かしていけるのかを、まちづくり専門家を講師として3回通して考える。 (講師) NPO法人まちの縁側育み隊 代表理事 遠藤安弘氏 (テーマ) 第1回：“まちづくり”ってなんだろう？ ～まちを歩いてみれば…～ 第2回：“まちづくり”の視点を磨く ～様々な観点から、まちを考えてみる～ 第3回：“まちの宝物”を生かすために	【第1回】 2004年 12月11日(土) 13時～16時30分 【第2回】 2005年 2月5日(土) 13時～16時30分 【第3回】 2005年 2月12日(土) 13時～16時30分	こうち男女共同参画センター「ソレ」	6人	27人	696
7. NPO事業企画コンテスト	高知の「とっておき」探しワークショップ事業 団体名：カリバー倶楽部 高知市内にある、知る人ぞ知る「とっておき」(歴史、文化、環境、町並み、人、食、その他有名無名を問わず「価値」があるもの)を、ワークショップ形式により発見する。 具体的には、旭のまちの魅力を紹介するパンフレットの作成と、これまでの活動を紹介するためにホームページを作成。 (講師) 写真集作者 島総一郎氏 ①まちづくり市民連続講座(第1回～第3回)に参画 ②「島総一郎さんの写真スライド上映会」 ③「旭のまちを見てフィールドワーク」	①は上記の通り。 ② 2005年 1月15日(土) ③ 2005年 1月20日(木)	①は上記の通り。 ②龍馬の生きたまなち記念館 ③旭のまち		15人	242
8. ビーチクリーンアップ	「どんなごみがどれくらいあるのか」「発生源はどこか」を知り、「ごみを出さないための行動や社会づくり」に結びつけるための国際的な環境活動。種崎海水浴場にて散乱ごみの組成と個数を調査し、材質別にデータ収集。 ※NPO高知市民会議自主事業	2004年 4月24日(土) 10時～12時	種崎海水浴場	2人	対象： 一般市民 30人	3

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
9. 第6回が市民がつくる防災フォーラム	<p>テーマ:「～我が家の防災について考える～」</p> <p>昭和南海地震の記録映像上映</p> <p>第1部「南海地震予測クイズ」 (解説) 高知市防災対策課 山中一氏</p> <p>第2部「我が家の防災事例」報告 ①家の耐震補強 (解説) 小松信利氏 ②建物・室内での防災対策取り組み (解説) 西田政雄氏 ③自主防災組織立ち上げ事例 (報告) 中岡久幸 ④防災に向けての取り組み発表 (発表) 高知市立愛宕中学校 生徒会</p> <p>第3部「市民がつくる防災フォーラム」寸劇 テーマ:「あるお家の防災は…」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常食試食コーナー ・耐震・救出関連の器具展示 ・我が家の耐震相談コーナー ・100円ショップで見つけた防災グッズ紹介 ・自主防災組織立ち上げ相談コーナー 	<p>2004年 12月19日(日)</p> <p>13時～ 16時半</p>	<p>こうち男女共同参画センター「ソール」3F大会議室</p>	20人	<p>対象: 一般市民 119人</p>	304
10. 1.17高知からKOBEに"灯り"を	<p>ボランティア活動が目ざされ、様々な面で「気づき」の災害となった阪神淡路大震災から10年目を迎えたが、災害と復興の過程で学んだ教訓やその記憶を風化させないこと等を目的に6回目を開催。</p> <p>竹筒とろうそくで、「1.17KOCHI」と火文字を作成し、街頭募金活動、ミニコンサート、起震車を体験、災害パネル展示、防災グッズ展示販売などを実施。</p> <p>竹筒は、元事務局長の雨森暉朗氏所有の竹林から情報交流館ネットワークのご協力を得て切り出し加工。事業終了後、メッセージとともに届けられた竹筒は17日午後長田町の1.17会場でも、再度火文字として活用された後、神戸の被災者の方たちが働く「パルナー COOP」に届けられ、就労支援に役立てる。集められた募金・協力金は、今後の災害ボランティア活動支援を目的として設立された「こうち災害ボランティア活動支援基金」に寄付。</p> <p>*募金総額 257,044円</p>	<p>【街頭募金】 2005年 1月8日(土)</p> <p>2005年 1月16日(日) 13時～ 1月17日(月) 18時</p>	<p>高知市中央公園</p>	34人	<p>対象: 一般市民 参加者: 500人</p>	333
11. よさこい祭りへの参画	<p>よさこい祭りには小間5つを出展し、パ・初展示やパンフレットにて、NPO高知市民会議の活動を一般市民へ紹介。及び新規入会者の勧誘等を実施した。</p> <p>〈出展協力団体〉 生態系保護協会・地球村「高知」・気候ネットワーク高知・公共交通部会</p>	<p>2005年 3月12日(土) 10時～ 17時 3月13日(日) 10時～ 16時</p>	<p>高知中央公園</p>	4人	<p>対象: 一般市民 参加者 300人</p>	117
12. 「震災からの復興そしてこれから」	<p>地震発生後、「まち」を復興していくためには周囲の人たちとの助け合いや協力、「共助」が新しいまちづくりのカギになる。次の南海地震が発生した場合、新たな「まち」の復興に必要な住民力とはどのようなことかなどを考える。</p> <p>第1部 映画「掘るまいか」上映 第2部 討論「震災からの復興～今、そしてこれから～」 (進行) 街夢千年の暮らし PRODUCE&DESIGN 代表取締役 黒田武儀氏 (討論者) 全日本養鯉業組合 理事 田中重雄氏 神戸市鷹取商店街復興組合 理事長 石井弘利氏 高知県土佐清水市・下川口浦区長 手島慶孝氏 高知県知事 橋本大二郎氏</p>	<p>2005年 3月19日(土) 13時～ 16時半</p>	<p>こうち男女共同参画センター「ソール」</p>	18人	152人	596

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
13. フジ子どもエコクラブ	<p>㈱フジより受託 自然に親しみ、ものづくりなどを体験しながら環境問題を楽しく学ぶことをねらいとして、小学校3～6年生を対象に実施。</p> <p>全体テーマ「ケフ活用シリーズ」 ～ひとつの植物からいろんなことができるんだよ～</p> <p>第1回目：「オリエンテーション・ケフって何？」 第2回目：「森と川のステージで親睦を深めよう」 第3回目：「ケフを食べよう」 第4回目：「ケフで染め物？」 第5回目：「紙漉きの準備をしよう」 第6回目：「ケフで紙作り」 第7回目：「思い出のアルバム作り」</p>	<p>【第1回】 2004年 6月20日(日) 【第2回】 7月10日(土) ～11日(日) 【第3回】 9月25日(土) 【第4回】 10月16日(土) 【第5回】 11月13日(土) 【第6回】 12月11日(土) 【第7回】 2005年 1月15日(土)</p>	<p>第1・4・5・6・7回目 高知女子大学池 キャンパス 第2回目 高知県森林総合センター 第3回目 五台山ふれあいセンター</p>	<p>第1回 25人 第2回 28人 第3回 19人 第4回 20人 第5回 22人 第6回 20人 第7回 24人</p>	<p>参加者： 【第1回】 18人 【第2回】 23人 【第3回】 17人 【第4回】 20人 【第5回】 15人 【第6回】 18人 【第7回】 18人</p>	1,035
14. 高知県地域協働社会づくり事業	<p>高知県より受託 (1)地域課題発見型事業 行政職員がNPOと協働で事業を実施する際に必要な“NPOとは”、“NPOとの協働とは”についての理解と、事業実施において協働する上での課題に対するとらえ方を考えるために、講義とワークショップを進める。高知県内の自治体を3つのブロックに分けて実施した。</p> <p>◆講師 (東部ブロック) 大阪ボランティア協会 事務局長 早瀬昇氏 (中央ブロック) 日本NPOセンター 事務局長 田尻佳史氏 (西部ブロック) 市民活動センター神戸 代表理事 実吉威氏</p>	<p>【東部】 2004年 9月14日(火) 9時20分～ 16時半 【中央】 9月16日(木) 9時20分～ 16時半 【西部】 10月18日(月) 9時20分～ 16時半</p>	<p>【東部】 安芸市 民会館 【中央】 高知県立ふく交流プラザ 【西部】 中村市 社会福祉センター</p>	<p>5人 5人 4人</p>	<p>対象： 市町村職員及び県職員 【東部】 37人 【中央】 26人 【西部】 28人</p>	2,778
	<p>高知県より受託 (2)NPOと行政との協働づくり事業 3回の継続性を持たせたワークショップを開催し、実施することで高知県庁の職員がNPOへの理解や連携・協働することによる可能性を広げ、新たな仕事の仕組みづくりが行えるリーダー的な人づくりにつなげる。 (テーマ) 第1回：「NPOを理解する」 第2回：「NPOとの協働を考える」 第3回：「『協働』の可能性を考える」 (協力NPOの方々) NPO法人NPO砂浜美術館 事務局長 村上健太郎氏 NPO法人ワークみらい高知 事務局長 竹村利道氏 NPO法人仁淀川お宝探偵団 理事長 生野宣宏氏 NPO法人今治NPOセンター 事務局長 山本優子氏</p>	<p>【第1回】 2004年 5月17日(月) 13時30分～ 16時40分 【第2回】 6月7日(月) 13時30分～ 16時40分 【第3回】 7月5日(月) 13時30分～ 17時</p>	<p>【第1回】 高知県庁 北庁舎 3階 第1会議室 【第2回】 高知県庁 北庁舎 4階 会議室</p>	<p>対象： 高知県庁内NPOと行政との協働推進ワーキングチームメンバー 20人</p>		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
15. 有機廃棄物肥料システム第三者ジャッジ委員会	<p>（株）エコデザイン研究所より受託 地域における循環型社会を構築していく重要性が認識されている。昨今、（株）エコデザイン研究所が準備している微生物による有機廃棄物の堆肥化の仕組みを、市民活動団体や農業者など第三者の視点からチェックする（ジャッジ委員会）を設置し、自立した意見のもと審議を行う。NPO高知市民会議は、この第三者ジャッジ委員会の会議運営を担う。 2004年度はジャッジ委員会の進め方や勉強会を中心に行った。</p>	<p>第1回委員会 2004年9月5日(水) 第2回委員会 10月14日(木) 第3回委員会 11月15日(月) 第4回委員会 12月9日(木) 第5回委員会 2005年1月20日(木) 第6回委員会 2月15日(火)</p>	<p>第1・2・4・6回 高知市市民活動サポートセンター 第3回 西条市の養鶏施設への視察 第5回 建設中のエコデザイン研究所の養鶏施設と堆肥センター（EMW技術）を視察</p>	2人		1,242
16. 勤労者マルチライフ支援事業	<p>（財）さわやか福祉財団より受託（3年間） 「仕事と生活の調和」がとれた働き方や地域社会での居場所づくりの実現を目指す勤労者向けの厚生労働省事業。 ボランティア活動体験プログラムの企画・実施や、企業・ボランティア・NPO団体との交流会・コーディネートなどの「ボランティア活動に参加できる環境づくり」をする。 また、ボランティア情報提供・相談、地域ネットワークづくりなど「ボランティア活動への参加実現」を進める。</p> <p>① マナー出展及びアンケート調査 ② 「はじめてみませんか新しい自分発見」 【講演】「働きながらできるボランティア」 講師：住民流福祉総合研究所 所長 木原孝久氏 【体験講座】 I) 「お父さんといっしょ お料理教室」 (協力) トマトの会 II) 「南海地震から身を守る！自主防災のすすめ」 (協力) 高知市防災対策課・四国特殊機器販売 III) 「パソコン要約筆記体験」 (協力) 要約筆記「高知・やまもも」 IV) 「英語がイトボランティア」 (協力) 高知 SGG 善意通訳クラブ V) 「絵てがみ教室」 (協力) 絵てがみ教室「どんぐり」 VI) 「ピクニッククリーンアップ」 (協力) NPO 法人地域交流センター四国</p>	<p>① 2004年5月1日(土) 10時~16時 ② 9月19日(日) 13時~17時</p>	<p>① 高知市中央公園 ② 県立ふくし交流プラザ</p>	<p>① 11人 ② 26人</p>	<p>① アンケート回収 458人 ② 講演 80人 体験講座 113人</p>	4,879

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
	<p>③ビーチクリーンアップ 「どんなごみがどれくらいあるのか」「発生源はどこか」を知り、「ごみを出さないための行動や社会づくり」に結びつけるための国際的な環境活動。散乱ごみの組成と個数を調査し、材質別にデータ収集。</p> <p>④ 16年度ワモアライフ勤労者ボランティア賞の選考(1個人 2団体) 【ワモアライフ勤労者ボランティア賞】 一ツ橋少年サッカークラブ 指導者：春日裕之さん 【ナイスサポート賞】 NTTドコモ四国高知支店 【ナイスパートナー賞】 地域サポートの会 さわか高知</p> <p>⑤ NPO プレゼンテーション講座 in 高知 講師：市民活動実感型支援センター・ルズ木さいたま 吉田理映子氏</p> <p>1. NPO 広報講座～市民的広報・広告制作のために～ 2. 「ホッ」のちらし 3. 個人と市民団体における情報のアクセスの実態 4. 市民参加意識調査(上尾市 2004) 5. 「伝えるコツ」トーン&マネー 6. 伝えるときのささやかな心がまえ</p> <p>⑥ ボランティア・NPO 仕掛け人市 自分の思いや企画を多くの人に仕掛け、ひいては社会全体に波及させて、地域や社会を元気にしていくことを目的に実施。 前半は「仕掛け人」たちが思いや企画をプレゼンテーションし、後半は気になる企画や発表者の所に出かけて情報交換など自由に交流、実現に向けて語り合う。</p> <p>⑦ 「第14回企業市民セミナー」への参画 【講演】住友生命の社会貢献活動とNPOとの協働 講師：住友生命保険相互会社調査広報部 次長 井上小太郎氏 【事例研究】企業とNPOとのパートナーシップを考える 事例提供団体 (1) 特定非営利活動法人 ごめん・なはり線を支援する会 (2) 特定非営利活動法人 すずめ福祉会すずめ共同作業所</p> <p>⑧ よさこいエコ祭り出展及びクイズ出題</p>	<p>③ 9月20日(祝) 10時～12時</p> <p>④ 12月10日(金) 15時半～17時半</p> <p>⑤ 2005年 2月5日(土) 3時～17時半</p> <p>⑥ 2月26日(土) 10時～16時</p> <p>⑦ 3月9日(水) 13時半～16時半</p> <p>⑧ 3月12日(土)～13日(日) 10時～17時</p>	<p>③ 種崎海浜公園</p> <p>④ 高知電気ビル</p> <p>⑤ 高知電気ビル</p> <p>⑥ こうち男女共同参画センター</p> <p>⑦ 高知共済会館</p> <p>⑧ 高知市中央公園</p>	<p>③ 6人</p> <p>④ 9人</p> <p>⑤ 5人</p> <p>⑥ 12人</p> <p>⑦ 10人</p> <p>⑧ 4人</p>	<p>③ 25人</p> <p>④ 11人</p> <p>⑤ 11団体 21人</p> <p>⑥ 80人</p> <p>⑦ 23人</p> <p>⑧ クイズ回答者 100人</p>	
17. スキルアップ講座	<p>「組織マネジメント講座」 in 高知 環境事業団 地球環境基金より受託 組織内における合意形成の手法や、資金調達、賛同者や仲間を増やすための企画書の書き方など、具体的ですぐ使える手法を学ぶ。</p> <p>【1日目】 セッション1: 「組織活動で思いを大切に～組織のミッションと経営戦略の立て方～」 (講師) NPO 法人 えひめ NPO センター 理事長 菊池修氏 セッション2: 「思いを分かち合う～ことばを共有する～」 (講師) NPO 法人 NPO 高知市民会議 副理事長 兼松方彦氏</p>	【1日目】 2005年 1月22日(土) 10時～17時	高知共済会館 3F 赤帝の間	3人	対象者：環境保全を中心とするNPO・NGOのリーダーや組織マネジメントを担っているスタッフ。又、テーマに関する市民の方々。 19人	1,121

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
	<p>セッション3:「合意形成の手法を知る ～会議の手法を体験する～」 〈講師〉NPO法人ふくおかNPOセンター 理事長 古賀桃子氏</p> <p>セッション4:「協働の担い手になるために ～今、NGO/NPOに求められていること～」 〈講師〉NPO法人NPO高知市民会議 理事長 山崎水紀夫氏 高知県男女共同参画・NPO課 主 幹 西山直文氏</p>					
	<p>【2日目】 セッション5:「事業を企画する ～思いを妨げにするために～」 〈講師〉NPO法人えひめNPOセンター 理事長 菊池修氏</p> <p>セッション6:「活動を効果的に知らせる手法を知る ～賛同者を増やし、活動の活性化のために～」 〈講師〉言葉工房 代表 吐山継彦氏</p>	<p>【2日目】 1月23日(日) 10時～17時</p>				
18. スキルアップ講座	<p>「NPOプレゼンテーション講座」 高知市とまちづくり市民財団による委託と 助成により実施。 (市民活動の推進を図るため、スキルアップ講座を四国 4県がそれぞれ企画・運営)</p> <p>プレゼンテーションの重要性や企画書の作り方、 発表の仕方などの手法を講師から学び、実 際実践できる場作りを行う。</p> <p>〈講義〉 「相手の納得を引き出すプレゼンテーションの基本」 〈講師〉v・マネジメント代表 松本修一氏</p> <p>組織のミッション・ビジョン・戦略について団体 ごとのワークを実施。プレゼンテーションのポイントをビ デオで学習した後、実際に活動紹介の資料 を作成して、それぞれの団体が発表した。</p>	<p>2004年 10月24日(日) 9時30分 ～16時</p>	<p>こうち 男女共 同参画 センター 「ソール」</p>	<p>5名 対象: NPO活 動団体 19人</p>	<p>214</p>	
19. スキルアップ講座	<p>土佐をまるごとアートする 大人のための「まちづくり人」講座 「Be I」 「自分とは何なのか?」を引き出すこと、 他を認めることができること、「まちそだ て」のスタッフを育てることを目的に実施。</p> <p>〈講師〉ハート&アート空間BEI代表 関口怜子氏</p> <p>【1日目】 「からだ語る ところが語る」 身体を動かしたり、絵を描いたりしながら、 自分と出会い、自分を楽しむ。</p> <p>【2日目】 季節の食材を使って土佐の"食"をアートする。</p>	<p>【1日目】 2004年 7月3日(土) 14時～17時</p> <p>【2日目】 2004年 7月4日(日) 9時～15時</p>	<p>1日目 高知市 立龍馬 の生ま れたま ち記念 館</p> <p>2日目 かるぼ ーと 調理室</p>	<p>2人</p> <p>【1日目】 24人 【2日目】 18人</p>	<p>564</p>	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
20. まちづくり支援	<p>受託：(株)四国銀行 1. 公益信託高知市まちづくりファンド</p> <p>2003年4月に施行された「市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」に基づき、公益的なまちづくり活動を行う市民団体への助成を目的に、高知市が四国銀行に3000万円を出捐し、公益信託「高知市まちづくりファンド」を創設。その企画運営を担う。</p> <p>2004年度応募団体数 計17団体 「まちづくりはじめの一步」コース 4団体 「まちづくり一歩前へ」コース 13団体 12団体の活動に対し、助成が決定。 中間発表会で事業の進捗状況を発表する。</p>	<p>【書類審査】 2004年7月30日(金) 15時～20時40分</p> <p>【公開審査】 8月1日(日) 13時～17時</p> <p>【最終発表】 8月29日(日) 13時～16時</p> <p>【中間発表】 2005年1月29日(土) 13時～16時</p>	<p>高知市市民活動サポートセンター</p> <p>高知市たかじょう庁舎6F</p>	12人	<p>対象：まちづくりに関心のある一般市民、NPO関係者</p> <p>公開審査会 70人</p> <p>最終発表会 30人</p> <p>中間発表会 50人</p>	607
	<p>II. 公益信託高知市まちづくりファンド・ニュース「まちファン」の発行 3800部</p> <p>公開審査会、最終発表会、中間発表会における各団体の発表内容や、運営委員の講評等を掲載。</p>	<p>【第3号】 2004年11月</p> <p>【第4号】 2005年3月</p>	高知市市民活動サポートセンター	2人	<p>発行部数 【第3号】2500部 【第4号】1300部</p>	
	<p>III. まちづくりアドバイザー</p> <p>市民活動を効果的に行うための手法や考え方など、必要なときに専門家からアドバイスをもらえる仕組み。</p>	通年	高知市市民活動サポートセンター他	9人	27人	204
21. 研修派遣支援事業	<p>この事業は全国各地で開催されているNPOやボランティアの研修会等への参加にあたり参加費と旅費のそれぞれ2分の1を補助し、日常の活動のスキルアップを図ることを目的とする。</p> <p>①市民セクター全国会議 2004 ②NPOと行政との対話フォーラム05</p>	<p>① 2005年9月11日(土)～12日(日)</p> <p>② 2005年2月18日(金)</p>	東京		2人	43
22. ホームページ制作	<p>2003年10月にリニューアルオープン。事業スケジュールや事業計画及び予算などを情報公開。また情報掲示板では、各NPO団体から寄せられたイベント情報を掲載。 アドレス http://www.siminkaigi.com</p>	通年	高知市市民活動サポートセンター	4人	会員および一般市民	378
23. 高知市こどもセンター	<p>高知市こどもセンター情報誌「わいわいくじら」の発行。発行に伴う情報収集、編集等の打ち合わせのために運営協議会を実施。長期休暇前に年3回、約3万部を発行。配布先は高知市内の保育園・幼稚園・小学校など、この発行を資金面(1口1万)で支えてくださる方を広く募集しており、「わいわいくじら2004なつやすみ号」から最終ページに、賛同いただいた企業・団体・個人の名称を掲載している。</p> <p>【運営協議会】 ＜第1回＞2004年4月26日(月) ＜第2回＞2004年6月11日(金) ＜第3回＞2004年10月25日(月) ＜第4回＞2005年2月4日(金)</p> <p>※NPO高知市民会議自主事業(2004年度～)</p>	<p>【夏休み号】 2004年7月12日(月)</p> <p>【冬休み号】 12月13日(月)</p> <p>【春休み号】 2005年3月14日(月)</p>	高知市市民活動サポートセンター	3人	市内の各幼稚園、保育園、小学校に通学する子どもたち	1,060

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
24. 災害支援 タオルプロジェクト	<p>* 高知県ボランティア・NPOセンター、NPO高知市民会議、災害ボランティアグループ「プロジェクトV」の三者合同事業</p> <p>台風 23 号による水害や、新潟県中越地震などの被災地復旧作業を行うにあたり、現地でタオルの必要性があるという被災地NGO協働センター(兵庫県神戸市)からの呼びかけで、タオルとボランティア活動支援金を募る。</p> <p><タオル>総数 24,447 枚 <ボランティア活動支援金>総額 441,088 円</p>	2004年 10月26日(火) ～11月6日(土)	高知市 市民活動サポートセンター	6人	一般市民	49
25. 高知市 市民活動サポートセンター 運営	<p>高知市市民活動サポートセンターの案内、相談及び貸館業務</p> <p>【開館日時】</p> <p><月～金> 10:00～21:00 <土> 10:00～18:00 (※日曜・祝日・年末年始休館)</p>	通年	高知市 市民活動サポートセンター	5人	一般市民	

注意) 受託先を特に明記していない事業はサポートセンター事業として高知市より受託

(2) 収益事業
なし